



校長室より



令和 7 年 4 月 9 日

No.2

自分らしく生きる 豊かに生きる

入学、進級おめでとうございます

今年は、たいへんめずらしく始業式や入学式の日まで、桜が花を散らすのを待ってくれましたね。

4月8日（火）、着任式・始業式が実施されました。14日間の春休みを終え、久しぶりの学校でしたが、子どもたちの気持ちは、「次の担任は誰になるのだろう」というところにあったと思います。そんな気もそぞろの子どもたちを前に、始業式の私の話は、三点を伝えさせていただきました。まず一点目は、この学校が安心して学べる場所になるよう、先輩としてやさしく背中を見せてあげてほしいということをお願いしました。二点目として、「桜梅桃李（おうばいとうり）」という言葉を紹介させていただきました。桜は華やかで人気があるけど、梅や桃や李（すもも）にもそれぞれ良さがあり、人を感動させたり、誰もが楽しみにしている実をつくるという役割をもっていたりします。一人ひとり自分にはない良さがあります。自分らしい花を咲かせてほしいと伝えさせてもらいました。三点目は、今年度から学部呼び方やグループ名が変わりますが、入院している1ブロック生と通学している2ブロック生が同じ小・中学部、高等部の仲間として交流できる素敵なアイデアを募集していますという話をしました。ワクワクできる一年であってほしいと思います。



4月9日（水）、春の暖かい日差しがきらめく中、入学式が挙行されました。中学部5名、高等部10名の生徒たちが、不安と緊張の中、新しい希望も抱き、みはまに入学してきました。一日も早く、新しい仲間や担任との関係をつくり、みはまでの学校生活に慣れていってほしいと思います。無理をせず、マイペースで歩いていってください。

